

目 次

法人本部事業報告	P2-P13
事務局事業報告	P14-P19
泉苑事業報告	P20-P22
あさひ苑事業報告	P23-P25
うらら多磨事業報告	P26
緑苑事業報告	P27-P29
かんだ連雀事業報告	P30-P32
かがやきプラザ(相談センター)事業報告	P33-P34
岩本町ほほえみプラザ事業報告	P35-P37
きずな事業報告	P38-P39
しらとり事業報告	P40-P41
たち事業報告	P42-P43
事業実績報告一覧	P44
事業報告の付属明細書	P45
社会福祉法人の業務の適正を確保するための体制の運用に関する事項	P46

法人本部 事業報告

I. 概要

組織運営面では、制度改正により導入された初めての会計監査人監査が平成29年度決算に対して実施され（昨年度中の期中監査に加え、往査や打合せで計22日間、その他メール送受信で約550通）、高い評価とともに無限定適正意見の表明を受けた。基本方針に基づき順次進めてきた内部管理体制の整備については、年度内に「コンプライアンス管理規程」、「リスク管理規程」、「内部監査委員会規程」を設置し、新年度からの具体的な取組に向け準備を進めた。また、導入後10年を経過する家族支援システムを更新し、介護請求システムだけでなく、記録の活用が図られる業務システムとして、新年度から「ケアカルテ」を導入すべく準備を進めた。

財務面では、年度途中での予算の執行状況ヒアリングを実施する等、稼働率の回復努力に努めたが、大変厳しい結果となった平成29年度決算をさらに上回る実質的赤字決算となった。

施設管理面では、網代ホームきずなの改築工事の二期工事が年度末に完了したほか、かんだ連雀では、千代田区の補助を活用し、居室空調設備等省エネ改修工事を実施するとともに、1階のあんしんセンター神田を移設し、その跡スペースを利用して介護職員確保のための子育て支援事業を3月から開始した。（運営はしらとり）

1) 経営状況

- ・ 収入については、法人全体として13,120千円（約△0.39%）の減収となった。それぞれ理由は異なるが、介護保険事業収益、老人福祉事業収益及び児童福祉事業収益の全てにおいて減であった。
- ・ 支出については、8,780千円（約0.26%）の増であり、人件費は非常勤職員賃金の大幅増による増、事業費は水道光熱費等の増、事務費は主にケアカルテ導入に伴うi-PadやWi-Fi等の購入による増である。水道光熱費増の理由である電気料金は岩本町ほほえみプラザの増による。11月に電力会社の見直しを行った施設では減または微増であった。
- ・ 収入が減、支出が増のため、経常収支差額は794千円と前年度比△21,573千円の大幅減となった。また、経営上の収支状況を端的に表す経営増減差額率は、21年度5.7%、22年度3.9%、23年度0.8%、24年度3.5%、25年度6.0%、26年度4.9%、27年度3.8%、28年度3.4%、29年度0.7%、30年度0.02%と過去10年間で最低だった昨年度を更に下回った。

2) 職員状況

ア 職員数等

- ・ 平成30年4月1日在籍正職員292名（高齢施設256名・母子施設36名）
平成31年3月31日在籍正職員290名
- ・ 入職者26名（高齢施設21名・母子施設5名） 退職者16名（高齢施設14名・母子施設2名）
離職率5.48%（平成29年度7.56%）
- ・ 60歳定年後の再雇用職員（嘱託含む）20名（常勤13名・非常勤7名）
今年度定年退職者4名は全員再雇用契約
- ・ 施設間異動 4月に18名（うち母子施設5名） 12月に1名
- ・ 年度内産休、育児休業制度利用16名 年度内復職6名
男性職員による育児休業取得1名（1か月）
- ・ 平均勤続年数 10.8年 平均年齢 39.8歳 男女比 男性45%、女性55%
- ・ 採用試験 年間9回実施（応募者39名、採用内定24名、合格率62%） 応募者は年々減少

平成30年度職員概況

平成31年3月31日現在

1. 級別構成

	事務局		泉苑		あさひ苑		うらら多磨		緑苑		連雀		かがやき		岩本		高齢計		きずな		しらとり		たっち		母子計		合計		総合計			
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比		
正職員	1	8%	1	2%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	1	11%	0	0%	5	2%	1	8%	1	7%	0	0%	2	5%	7	2%	12	4%		
M級	1	8%	0	0%	1	2%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	1	3%	4	2%	0	0%	0	0%	1	9%	1	3%	5	2%				
7級	0	0%	3	5%	0	0%	0	0%	2	4%	2	6%	1	11%	2	7%	10	4%	1	8%	1	7%	0	0%	2	5%	12	4%	12	4%		
6級	4	31%	6	10%	10	18%	0	0%	3	6%	1	3%	1	11%	4	13%	29	11%	1	8%	0	0%	1	9%	2	5%	31	11%	140	48%		
5級	2	15%	24	39%	23	40%	0	0%	23	48%	14	41%	3	33%	10	33%	99	39%	4	33%	4	29%	2	18%	10	27%	109	38%				
4級	4	31%	17	27%	11	19%	0	0%	17	35%	17	50%	3	33%	13	43%	82	32%	5	42%	6	43%	7	64%	18	49%	100	34%	100	34%		
3級	1	8%	11	18%	10	18%	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	24	9%	0	0%	2	14%	0	0%	2	5%	26	9%	26	9%		
2級	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%				
1級	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%				
合計	13	100%	62	100%	57	100%	0	0%	48	100%	34	100%	9	100%	30	100%	253	100%	12	100%	14	100%	11	100%	37	100%	290	100%	290	100%		
男女別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	5	34	3	20	3	27	0	0	21	27	18	16	4	5	10	20	122	131	3	9	4	10	1	10	8	29	130	160	45%	55%		
平均年齢(歳)	46.2		41.8		42.7		0		42.9		41.1		45.4		42.0		43.2		37.3		34.8		37.3		36.5		39.8					
平均勤続年数(年)	10.8		10.1		9.5		0		13.3		8.4		10.9		12		10.7		13.8		10.4		8.3		10.8		10.8					

再雇用・嘱託常勤職員	0	2	1	2	5	2	0	1	13	0	0	0	0	13	
再雇用・嘱託非常勤職員	1	4	2	0	1	0	0	0	8	0	0	0	0	8	
有期契約常勤職員	0	12	13	1	10	7	0	7	50	2	5	3	10	60	
有期契約非常勤職員	0	62	82	15	55	36	0	26	276	11	28	25	64	340	
非常勤職員(常勤換算)	0	26.5	36.8	4.1	22.4	22.2	0	13.3	125.3	2.4	10.3	12.6	25.3	150.6	
準職員常勤換算合計	0	40.5	50.8	7.1	37.4	31.2	0	21.3	188.3	4.4	15.3	15.6	35.3	223.6	
派遣職員常勤換算	0	0	1.0	0	0	5.6	0	0	6.6	0	0	0	0	6.6	

2. 正職員所有資格一覧(重複あり)

資格名	事務局	泉苑	あさひ苑	うらら多磨	緑苑	連雀	かがやき	岩本	高齢計	きずな	しらとり	たっち	母子計	合計
社会福祉士	4	6	5	0	6	7	7	2	37	2	5	7	14	51
精神保健福祉士	0	1	3	0	1	1	1	0	7	1	1	3	5	12
介護福祉士	1	36	35	0	33	23	6	21	155	0	0	0	0	155
介護支援専門員	3	4	19	0	13	13	6	8	66	0	0	0	0	66
主任介護支援専門員	0	3	1	0	2	2	0	0	8	0	0	0	0	8
保健師	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	2
正看護師	0	3	3	0	3	3	1	1	14	0	0	0	0	14
准看護師	0	1	3	0	0	1	0	1	6	0	0	0	0	6
管理栄養士	0	2	2	0	0	1	0	2	7	0	0	0	0	7
栄養士	0	4	3	0	5	1	0	4	17	0	0	0	0	17
調理師	0	5	6	0	6	1	0	3	21	0	0	0	0	21
作業療法士	0	1	2	0	0	1	0	1	5	0	0	0	0	5
理学療法士	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	2
マナー/師	0	0	1	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	3
臨床心理士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	3
保育士	1	0	1	0	0	0	0	1	3	7	7	3	17	20
ヘルパー2級(初任者研修)	2	17	16	0	13	13	0	5	66	0	2	1	3	69
衛生管理者	4	0	2	0	3	2	0	1	9	0	1	0	1	10
合計	15	83	102	0	87	70	22	51	427	11	17	16	44	471

イ 人財育成・研修

- ・ 昨年度から始まった各施設研修担当による研修担当者会議により法人職員が横断的に参加できる共通テーマの法人企画研修を企画運営した。
- ・ 今年度からの取組として「相談員業務基本研修」により相談員の資質向上を図るとともに、ICT事業検討会議と協働で「かかえあげゼロ研修」を開催し、次年度へ継続する研修とした。
- ・ 年度計画に基づく法人企画研修(基礎研修・基本研修・ケアスキル)へは、18テーマ延べ534名が参加した。
- ・ 法人セミナーを毎月各施設で順次開催した。就活解禁となる3月には3回開催し、年間で延べ38名が参加した。同様のセミナーを開催する同業法人が多く、参加人数は年々減少しているが、確実に採用試験につながることができるイベントである。

II. 理事会・評議員会等の開催状況

理事会 [理事 10 名・監事 2 名]

日程	出席	議 案
6 月 13 日(木)	理事 10 名 監事 2 名	第 1 号議案 平成 2 9 年度事業報告の承認の件 第 2 号議案 平成 2 9 年度決算報告の承認の件 第 3 号議案 平成 2 9 年度監事監査報告の件 第 4 号議案 社会福祉充実残額の算定結果の件 第 5 号議案 定時評議員会の招集の件 第 6 号議案 経理規程改正の件 第 7 号議案 ケアハウスいわもと運営規程改正の件 第 8 号議案 グループホームいわもと運営規程改正の件
9 月 27 日(木)	理事 9 名 監事 2 名	第 1 号議案 かんだ連雀の子育て支援事業の件 第 2 号議案 かんだ連雀の大規模修繕の件 第 3 号議案 業務システム更新の件
12 月 13 日(木)	理事 9 名 監事 2 名	第 1 号議案 平成 3 0 年度第 1 次補正予算の件 第 2 号議案 かんだ連雀の大規模修繕工事補助金申請の件 第 3 号議案 内部管理体制の推進に伴う関連規程の整備の件
1 月 24 日(木)	理事 10 名 監事 2 名	第 1 号議案 2 0 1 9 年度施設長人事の件 第 2 号議案 コンプライアンス管理規程の件 第 3 号議案 経理規程改正の件
3 月 20 日(木)	理事 10 名 監事 2 名	第 1 号議案 平成 3 0 年度最終補正予算の件 第 2 号議案 2 0 1 9 年度事業計画の件 第 3 号議案 2 0 1 9 年度当初予算の件 第 4 号議案 リスク管理規程の件 第 5 号議案 特別養護老人ホームに係る関係規程の整備の件 第 6 号議案 指定居宅介護支援事業所に係る関係規程の整備の件 第 7 号議案 指定介護予防支援事業所に係る関係規程の整備の件 第 8 号議案 網代ホームきずな改築工事の件

評議員会 [評議員 11 名]

日程	出席	議 案
6 月 28 日(木)	評議員 8 名	第 1 号議案 平成 2 9 年度計算書類および財産目録の承認の件

監事監査 [監事 2 名]

日程	出席	内 容
4 月 23 日(月) 5 月 9 日(水) 10 日(木) 5 月 11 日(金)	監事 2 名	法人の理事の職務執行状況および財産の状況に関する監査 本部・泉苑・あさひ苑 岩本町ほほえみプラザ・かんだ連雀 緑苑・母子

会計監査人監査 [期中監査除く]

日程	会計監査人	内 容
5 月 1 日(火) 5 月 4 日(金) 5 月 7 日(月) 5 月 10 日(木) 5 月 11 日(金) 6 月 4 日(月)	PwC あらた有限 責任監査法人	法人の理事の職務執行状況および財産目録が社会福祉法人 会計基準に準拠し、適正に表示、作成されているかの監査

会計内部検査

日程	内 容
4 月 30 日(月) 5 月 1 日(火) 5 月 2 日(水)	決算内部検査 内部監査チェックリストに基づく財務諸表の事業所間相互 検査(出納責任者) あさひ苑・緑苑 岩本町ほほえみプラザ・かんだ連雀 本部・泉苑・母子

11月14日(水)	上半期内部検査	母子・泉苑
11月16日(金)		きずな
11月22日(木)		かんだ連雀・岩本町ほほえみプラザ

Ⅲ. 法人内の検討会議および連絡会等の開催状況

1) 財務管理検討会議(年12回開催)

- ・ 会計監査人監査等への対応や前年度決算に基づく社会福祉充実残額の策定、既存の中長期財務計画の進捗状況の確認、新たな3ヵ年計画の検討等、法制度等に対する対応を行った。
- ・ 見直しが必要な各種規程の改正は、内部管理体制の整備が行われたのち実施することになり、次年度に持ち越した。
- ・ 中長期計画の推進については、原資となる本部繰入金の確保が厳しい状況ではあるが、効率的な資金運用による利息収入は確保した。運営調整積立資産を取り崩し、ケアカルテの導入関連費用に充当した。
- ・ 予算執行管理については、厳しい拠点を対象に期中でのヒアリングを始めて行った。少なくとも、問題の共有は以前よりも適切に行われるようになった。

2) 労務人事検討会議

- ・ 法人独自の「働き方改革」に向け、平成29年度に実施した職員の意向調査結果や働き方検討プロジェクトでの意見を集約し、平成30年4月1日に就業規則を改正した。
 主な改正内容 年次有給休暇の時間単位取得
 採用3ヶ月後に有給休暇一部付与
 失効する有給休暇を積み立てる療養休暇の創設
 小学校就学までの育児時短制度の特例延長
 非常勤職員を75歳まで雇用期間延長
- ・ 前年度からの検討事項でもあり、意向調査からもキャリアパスの理解が不足していることも分かったため、厚生労働省「職業能力評価基準」をもとに新職能要件表(全職員共通版)を作成し、職員会議(平成31年3月26～27日開催、180名出席)で説明した。事業別の職能要件表は次年度策定予定である。

3) 府中エリア事業検討会議

- ・ 地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるために、府中3施設がそれぞれの機能と役割を再検討し、地域の拠点としてその機能が発揮できるよう事業の検討を重ねた。
- ・ 「安心シニア塾」は第6期となり、基礎・専門講座(各6回)に加え、特別講座を開催し、延べ388名の参加があった。今年度は参加者による安心シニア塾事務局が開催の準備等を担当し講座内容の意見交換もできた。
- ・ エリア事業検討会議で提案し、子育て事業とも合同で検討した家族支援情報交換会を7月と2月に開催した。

4) 神田エリア事業検討会議

- ・ 千代田区第7期計画を踏まえ、新たな事業に積極的に取り組む目標を立てた。
- ・ 岩本町ほほえみプラザについては、次期指定管理(平成31年から10年間)事業者として選定されたことを受け、準備に当たった。
- ・ かんだ連雀は、区の補助を受け1階のあんしんセンター神田を移設した跡スペースを活用し、千代田区第7期計画に基づき、介護職員確保のための子育て支援事業を平成31年3月から開始した(運営はしらとりによる)。さらに、省エネ改修補助を活用して、課題であった特養居室の空調入替(ガス→電気)を行うことができた。残る共有部分の空調および外壁、給湯設備等の改修に向けて、東京都大規模改修協議書の申請を行った。
- ・ 高齢者あんしんセンターの課題であった、要援助高齢者の把握と早期の支援介入を目指した新事業を区に提案し、次年度からの「見守り相談窓口設置事業」の受託が決定した。

- ・ かんだ連雀を拠点とするボランティアグループ「すみれ会」定例会および打合せを定期的
に実施し、地域包括ケアの一翼を担うため、在宅で行うボランティア活動を試行した。
- ・ かがやきプラザ相談センターは、あんしんセンターとの業務整理に取り組んだが、課題が
大きく次年度に持ち越した。

5) 母子・子育て支援事業検討会議

- ・ 各自治体の地域福祉計画を踏まえ、地域の子育て支援に求められる事業を検討するととも
に、施設利用者が「安心と快適な生活」が実現できる事業展開と体制を検討した。
- ・ 地域公益事業であるしらとりの地域児童を対象とする学習支援活動の進捗を確認した。
- ・ 日祭日事業所保育は、新たにかんだ連雀を活用した一時預かり事業開始に向け、事業内容
に関する検討を行った。
- ・ きずなでは、夏休み時に退所世帯児童へのアフターケアも念頭に「昼食会」の実施を
検討した。
- ・ 新しい社会的養育ビジョンの理解を深めるため、「新ビジョン」をテーマにした全国児童養
護施設協議会セミナーや全国母子生活支援研究協議会での報告内容を30年度中に職員研修
を企画・実行したほか、新記録システム導入に向けた検討や研修・見学を計画・実行した。

6) ICT事業検討会議

- ・ 平成30年2月にメンバー全員が参加したCARETEX東京において、各種介護システ
ムではタブレットの活用や音声入力、ナースコールや各種センサー等の連携等がすでに実現
している現状を目の当たりにして、介護システム入替に向けた検討を開始することについて
承認を得、活動を開始した。
- ・ 当初はプロジェクトとして開始し、8月から事業検討会議として業務システム更新のため
の調査、準備等を行った。
- ・ 候補となったシステムを既に導入している高齢者施設3施設、母子生活支援施設2施設を
見学し、実際の使用状況等を確認した。
- ・ 新システム決定後に当たっては、導入準備、環境整備を行った。
- ・ 遠隔会議システムを導入し、各施設からPCを使用して会議を行ったほか、一部の研修を
中継し、会場外の施設からの研修参加を可能とした。
- ・ 「情報セキュリティ研修」を11月20・22日に開催し、今後のICT活用による利便性
に伴う情報漏洩のリスクの拡大の防止と職員の情報セキュリティの意識を高めるための研修
を実施した。
- ・ 「抱え上げない介護プロジェクト」と連携し、次世代介護機器を導入済みの施設を見学す
るとともに、今後、法人での導入に向け、検討を行った。

7) 防災・防犯会議

- ・ 今年度、地震・火事・防犯対策を中心に机上訓練・実動訓練をセットに統一した訓練内容
とした。大きな成果として、「施設ごとだった課題と対応を共有することができた。」「机上
訓練で落ち着いて考えられ、職員の発言・意見が出やすく実動訓練への意識が高くなった一
方で、非常勤職員への訓練が課題になった。」等が上げられる。なお、BCP（事業継続計画）
の整理は、次年度行うこととした。
- ・ 法人統一防災訓練では、大規模地震を想定した訓練(図上/10月・実践/11月)に取り組み、
今年度導入した『メール配信システム』を活用し、被災状況の把握と連携について実施した
が、連携には至らず次年度の課題とした。
- ・ 府中エリアでは、府中自衛消防訓練審査会に「泉苑・しらとり隊」「あさひ苑・緑苑隊」の
2隊が参加した。今年度から実践に近づけた訓練内容で審査されることになったことから、
普段の防災訓練が生かされるもので、充実した参加となった。

8) 広報

- ・ 季刊しんあいは、計画どおり年4回、106号から109号(各3,500部)を発行した。
106号(平成30年6月20日発行)
社会福祉を考える(新連載)／新任職員紹介／施設だより「私の夢は」／平成

29年度事業報告より ※平成29年度事業報告および決算報告を同封した。

107号（平成30年9月20日発行）

社会福祉を考える2／平成29年度事業報告および決算報告／子育て支援がつながり高齢者施設と地域交流／施設だより「おいしい話」

108号（平成30年12月20日発行）

社会福祉を考える3／しんあい作品展／多摩同胞会の働き方改革／施設だより「今年の一文字」

109号（平成31年3月20日発行）

社会福祉を考える4／多摩同胞会の人財育成／施設だより「平成を振り返って」

- ・ ウェブサイトにおいては、かねてからの課題であった介護保険事業の利用料を掲載したほか、お知らせの活用にも力を入れた。昨年度開設した採用情報サイトを通じた応募や問い合わせは継続している。法人 Facebook ページは法人サイトの再掲であるが、少しずつ外部の閲覧者も増えている。

法人ウェブサイトの閲覧者の傾向として、サイト内の平均の滞在時間が一般より長く、掲載情報をきちんと読まれていると思われる。広報活動の一環としてウェブサイト等に関するチラシを作製した。

9) あゆみ会

- ・ 6月28日にあゆみ会総会を開催し、29年度事業報告・決算報告および30年度事業計画・予算の承認を得た。12月開催の法人全体会でのホスピタリティ充実に向けての託児の開始や交通費支給といった改善に取り組んだ。

IV. 外部主催会議の参画状況

会議名	主催	任期	所属	職員名	役職
北多摩南部地域保健医療協議会	東京都多摩府中保健所	29.4.1～31.3.31	理事長	鈴木 恂子	委員
地域生活移行支援会議	東京都福祉保健局	30.4.1～31.3.31	あさひ苑	清野哲男	委員
介護認定審査会	府中市	29.4.1～31.3.31	泉苑	福岡 重男	副会長
介護認定審査会	府中市	29.4.1～31.3.31	あさひ苑	秦惠民	委員
介護認定審査会	府中市	29.4.1～31.3.31	あさひ苑	清野哲男	委員
介護認定審査会	府中市	29.4.1～31.3.31	緑苑	松崎哲也	委員
介護認定審査会	府中市	29.4.1～31.3.31	緑苑	岡村敬子	委員
介護認定審査会	府中市	29.4.1～31.3.31	事務局	上野廣美	委員
府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会	府中市	30.5.1～3年	緑苑	松崎哲也	委員
府中市子ども・子育て審議会	府中市	29.8.1～31.7.31	たち	畑山恭子	委員
府中市在宅医療・介護連携会議	府中市	29.4.1～31.3.31	あさひ苑	清野哲男	入退院支援部 会会長
府中市在宅医療・介護連携会議	府中市	29.4.1～31.3.31	あさひ苑	比嘉敦恵	委員
府中市福祉のまちづくり推進審議会	府中市	30.4.1～31.3.31	泉苑	永合美徳	委員

府中市要保護児童対策地域協議会代表者会議	府中市	29.4.1~31.3.31	しらとり	片岡 高博	委員
府中市要保護児童対策地域協議会実務者会議	府中市	29.4.1~31.3.31	しらとり	宮本 靖代	委員
府中市要保護児童対策地域協議会実務者会議	府中市	29.4.1~31.3.31	しらとり	小室 憲司	委員
府中市立武蔵台小学校連絡協議会	府中市立武蔵台小学校	29.4.1~31.3.31	しらとり	片岡 高博	委員
府中市立第七中学校スクールコミュニティ協議会	府中市立第七中学校	29.4.1~31.3.31	しらとり	片岡 高博	委員
千代田区認知症ケア推進チーム	千代田区	30.4.1~31.3.31	岩本町	高橋 誠	委員
千代田区認知症ケア推進チーム	千代田区	30.4.1~31.3.31	岩本町	高橋 愛	委員
千代田区認知症ケア推進チーム	千代田区	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	金井英明	委員
千代田区認知症ケア推進チーム	千代田区	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	常川知美	委員
あんしんセンター連絡会議	千代田区	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	金井英明	委員
虐待防止定例会	千代田区	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	金井英明	委員
介護予防定例会	千代田区	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	常川知美	委員
東京都災害福祉広域支援ネットワーク	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	緑苑	松崎哲也	委員
北南地域ブロック（合同分科会）	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	緑苑	岡村敬子	委員
北南ブロック栄養士会	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	緑苑	栗沢敏子	委員
母子福祉部会 研修委員会	東京都社会福祉協議会	29.4.1~31.3.31	きずな	近藤 政晴	委員
母子福祉部会 従事者共済会代議員	東京都社会福祉協議会	29.4.1~31.3.31	きずな	宮城 晋	委員
母子福祉部会従事者会	東京都社会福祉協議会	29.4.1~31.3.31	しらとり	小室 憲司	副会長
養護老人ホーム意見交換会	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	緑苑	平岡貴弘	委員
ケアマネ支援委員会	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	泉苑	永合美穂	委員
支援センター分会役員会	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	あさひ苑	清野哲男	委員
センター分科会役員会	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	あさひ苑	清野哲男	委員
地域包括ケア推進委員会つなひろWT	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	あさひ苑	清野哲男	委員
ネットワーク委員会	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	あさひ苑	清野哲男	委員長

ネットワーク委員会	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	あさひ苑	齋藤鉄兵	委員
ネットワーク委員会	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	金井英明	委員
ささえ愛まち会議	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	我妻亜弥乃	委員
ささえ愛まち会議	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	津留喜久江	委員
ささえ愛まち会議	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	常川知美	委員
ささえ愛まち会議	東京都社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	かがやきプラザ	峯田恵理子	委員
「家族介護を考えるつどい」準備会	東社協東京ボランティア・市民活動センター	30.4.1~31.3.31	あさひ苑	清野哲男	委員
千代田区地域支援ネットワーク連絡会	千代田区社会福祉協議会	30.4.1~31.3.31	岩本町	高橋 誠	委員
実習施設（児童福祉分野）研究交流会	明治学院大学 社会福祉実習センター	30.4.1~31.3.31	きずな	近藤 政晴	フィールドインストラクター

V. 平成30年度法人本部事業計画への取組状況

1) 社会福祉法人としての組織力の強化

- ① 法人運営体制の確立とガバナンスの浸透・情報発信
 - ・ 評議員・理事・監事等、それぞれの役割を発揮し、ガバナンス体制を維持した。
- ② 業務執行理事による内部管理体制の充実
 - ・ 内部管理に係る月次報告のフロー(各事業管理者 ⇒各施設長 ⇒業務執行理事⇒理事長)を確立した。
- ③ サービス向上のための業務分析と適正配置
 - ・ 高齢施設長会議で適性配置(人件費比率を収入の65%以内に向け、級別平均人件費を基準に組織図に落とし込み、収支バランスを踏まえた組織づくり)に着手した。2019年度計画から3ヵ年計画で完成を目指す。
- ④ 会計監査人監査・監事監査・内部相互検査によるガバナンスの強化
 - ・ 会計監査人監査については、10月に理事者ヒアリング、11月に拠点往査のほか、12月、2月、3月に期中監査を行い、5月に8日間の期末監査を実施した。
 - ・ 監事監査については、4~5月に計4日間にわたり、主に平成29年度決算および事業報告、会議議事録、起案書等を対象に実施された。
 - ・ 会計を中心とした内部相互検査を実施。次年度からは事業連絡会を軸とした仕組みを確立し、本格稼働していく。

2) 社会福祉法人を担う職員の育成・働きやすい職場づくり

- ① 人財育成に連携した多様な研修

- ・ 法人主催の18講座に延べ534人が参加。法人の理念、内部管理の理解から運営規程に基づく研修・スキルアップ研修等を実施した。
- ② 働きやすい職場づくり
- ・ 平成29年度末の職員意向調査を参考に、就業規則を改正した。
有給休暇の時間使用、傷病のための有給休暇積立
育児短時間就業の延長
- ③ 職員の負担軽減とサービス向上の両立
- ・ 労務人事検討会議、高齢施設長会議およびホーム連絡会で正職員と非常勤職員の役割分担を明確にし、業務の効率化を目指した。引き続き検討が必要であり、次年度以降継続課題として推進していく。を
 - ・ 業務システムを更新し、2019年度稼働に向け、ICT事業検討会議を軸に全施設で取り組んだ。
- 3) 社会福祉法人として家族支援のため地域の拠点となる
- ① 高齢・児童の連携による三世帯・四世代および家族支援の専門性の確立
- ・ 家族支援情報交換会を開催した。
～「生活を支援する」ということを考える～
平成30年7月11日(水) 関係機関 25名 法人職員 13名
平成31年2月6日(水) 関係機関 22名 法人職員 12名
- ② 地域包括ケアの拠点施設としての役割の追求
- ・ 地域で暮らす高齢者および要援護者とそのご家族に対し、介護保険サービスの提供だけでなく、食事の提供や安心シニア塾および介護予防教室など各施設拠点が連携して展開することで、元気高齢者から重度要介護者がそれぞれその方らしい生活が送れるように支援し、ご本人、ご家族そして地域の方の拠り所としての機能を果たした。また、様々な活動を通じて法人が行政や医療機関、関係機関と繋がっていくことで、支援の輪を多重にする礎を築いた。
- 4) 社会福祉法人として利用者満足を追求する
- ① ルールに基づくサービス提供と確認のしくみを作る
- ② 生活の質を向上するための個別支援のケアプラン作成と実践・看護リハビリ専門職を交えたチームケアの浸透
- ③ 母と子の世帯として適切な支援計画と実践の充実
- ・ ①～③は、「VI 事業および施設の概況」のとおり

VI. 事業および施設の概況

- 1) 特養 利用実績は、法人全体で平均92.1%(前年差±0)、目標の95%に対し2.9ポイントマイナス、この乖離が収入全体に大きく影響した。泉苑が利用実績87.4%(前年差-2.7%)と低迷、あさひ苑も92.6%(前年差-0.9%)と前年を下回ってしまった。両施設とも退所者(泉苑26名・あさひ苑35名)が例年になく入退の多い年であった。緑苑は、従来型93.9%(前年差+1.6%)、地域密着型96.7%(前年差+1.4%)で、連雀の95.0%(前年差-1.3%)と共に目標値95%を達成した。次年度に向け、ホーム相談員連絡調整会議を中心に95%達成に向け、速やかな新規入所の調整を推進していく。
- 2) 養護(信愛寮) 前年度に比べ、入所者が4名から8名へと倍増した。措置機関も2市区増え合計13市区となり、福祉施設としての役割が再認識されつつある印象。新規入所者が増え、退所者7名中長期利用されていた方4名が死亡(苑内での死亡2名・入院中に死亡2名)されたことで、平均年齢は83.6歳、平均在苑期間は0.5年短くなり、6.7年となった。年齢層の拡大(60歳代～100歳代)・望まれる生活支援の多様化を受け、より幅広い養護が求められている。
- 3) 短期入所 府中3施設平均で、利用実績90.9%(前年利用実績101.1%)と全施設で100%を

下回った。岩本町は81.1%(前年差+10.0%)と隣接区の受入れも対応し実績を伸ばした。また、岩本町はホームページ等への空所情報提供も活発に実施し、他施設・他事業の広報活動の先駆的役割を担った。インフルエンザの感染により、岩本町で2月1日～6日およびあさひ苑で2月8日～20日の期間受入れを停止した。短期入所利用前に通っていた他事業所でインフルエンザが発症していた情報がなく、とりわけ感染症流行時には受入れ前の利用者情報をいかに収集するかが課題となった。

- 4) 通所介護 泉苑で利用実績79.5%(前年差-5.0%)と低迷も、下期から「入浴」を切り口に新規利用者の確保により次年度への利用増に向ける。あさひ苑は83.4%(前年差+1.0%)と目標の85%には及ばずも前年を上回った。新規総合事業対象者増が要因のひとつである。連雀58.4%(前年差-6.8%)、岩本町69.1%(前年差-2.2%)と低迷も、短時間利用の受入れにより利用増が図れた。
- 5) 認知症対応型通所介護 泉苑が利用実績20.1%(前年差+2.3%)と微増も、あさひ苑は76.7%(前年差+10.9%)、岩本町が32.8%(前年差+9.8%)と10%アップした。あさひ苑は限られた登録者がほぼ毎日来苑されることが多かった。また、ご家族やケアマネに事業の内容を目で見ていただく「事業参観」は定着し、家族・ケアマネの理解も得られ新規利用者の獲得の一助となった。岩本町は、運営推進会議の場で事業の効果を報告したり、チラシ配付やホームページを利用しての空き状況の発信等、積極的にPR活動を行った。
- 6) 包括の相談件数 府中19,604件(前年19,568件)は前年並み、神田は9,251件(前年11,214件)と今年度も減少し、かがやきプラザ相談センターは5,309件(前年4,799件)と増えている。相談は、虐待等権利擁護や認知症に関する相談が増えている。また、自ら解決することの困難な多問題家族や末期がん・精神を含む65歳未満の相談が数多く寄せられている。経済的課題では虐待や不適切なケアにつながらなくても、生活が回らないためサービスや費用抑制を強いられている家庭が増加傾向にあることも特筆である。複合的な課題を抱えている相談に関しては、医療や行政、他機関との連携で「家族支援」の視点から世帯全体を支える形を見出すことがさらに重要になっている。
包括予防ケアプランは、府中3,811件(前年3,505件)は増加傾向で、新規利用者も増えているが、要介護から要支援認定になった方が多くいるように感じられる。神田は、1,682件(前年1,765件)と前年並みであった。
- 7) 居宅ケアプラン 居宅ケアプランは、府中2,519件(前年2,461件)と前年比微増傾向だが、引き続き法人を理解したケアマネの確保が求められる。神田は4名体制への復活を目指したが、適切な人材確保ができなかった。ケアプランは、1,089件(前年1,148件)と減少した。
- 8) 訪問介護 うらら多磨は、利用者数45名と前年度と変化ないが目標値には遠く、社会福祉法人の行う訪問介護事業所としての役割を再度府中市内居宅介護支援事業所に周知していきたい。かんだ連雀は、32名(前年差+5名)、また定期巡回随時対応型は6年目となり、前年登録者11名、今年度10名とほぼ登録が定着してきている。24時間の生活を支えながら自立を促していくこのサービスの可能性は高くをさらに広く展開していくため、引き続き外部に向けて普及に努めていきたい。そのほか区委託の在宅支援ホームヘルプ(上乘せ)は8名(前年差+4名)、と増加した。なかでも法人独自の自費サービスは7名(前年差+6名)と飛躍的に増加した。これは介護保険サービスだけでは埋まらない日中時間帯の援助として強化したことによる。
- 9) 介護予防(推進)事業 岩本町(高齢者活動支援事業)は、3,016名(前年3,014名)とほぼ昨年度と同様。活動の準備や片付け、管理など、サポート隊を中心に行われる活動が増え、活動の自主化に向けた流れができつつある。府中地区は、今年度で終了も取りざたされていた地域デイサービスが年度の途中で方針変更され、次年度も継続となったが、介護予防推進事業は延べ参加人数5,392名(前年5,871名)と利用者減少に歯止めがきかない。次年度は十

数年にわたり行政主導で地域包括支援センターや高齢者在宅サービスセンターが行ってきた介護予防をいかにして市民主導の形に導くか正念場を迎える。

- 10) 母子生活支援施設 入所理由は、きずなが年間利用世帯 25 世帯中 22 世帯 (88.0%)、しらとりは 29 世帯中 22 世帯 (75.9%) がDV世帯であり、総合すると昨年度より比率はさらに高くなっている。年間利用率は、きずなが 88.8%(延べ 213 世帯)で前年より上回り、しらとりが 96.2%であり、目標値を上回った。退所世帯数は、きずなが 8 世帯 (前年 18 世帯)、しらとりが 14 世帯で退所世帯数も増えている。入所世帯は、二施設ともに都内市部、区部および都外からも積極的に受け入れた。
- 11) しらとり トワイライトステイは、利用数が前年とほぼ現状維持の微増となった。理由としては、市内各所に多様なサービスの整備・普及が進んでいることや少子化、経済活動の動向等の影響が考えられる。ショートステイは前年をやや下回ったが、ひとり親家庭緊急一時保護は急増した前年をさらに上回る結果となった。母子生活支援施設同様にDVによる一時避難のニーズの高まりによるものと思われる。ひろば(2Fスペース)は、利用延べ人数 4,735 名 (前年 5,934 名) と前年度の実績をやや下回ったが、市内保育所等の同様の活動や近隣集合住宅児童数の減少の影響と思われる。
- 12) たっち ひろばの年間延べ利用者数が保護者を含め 129,131 名 (前年差-1,298 名) となった。未就学人口の減少や市内に常設のひろばが設置されたこともあり、利用者の減少傾向が続いている。リフレッシュ保育の年間延べ利用者数は、2,668 名 (前年差-38 名) であった。府中市とともに対応している総合相談の新規相談受理件数は、1,121 件 (前年差+180 件) で、初めて 1,000 件を超えた。

VII. 地域公益活動

1) 地域交流、地域拠点

- ・ 地域のシニア世代を対象に実施した公開講座「安心シニア塾」は、第 6 期の基礎講座 (5 月～7 月全 6 回延べ 163 名) と専門講座 (9 月～11 月全 6 回延べ 150 名) に加え、特別講座を開講した。今年度はシニア事務局として毎回の講座開催準備等や講座内容についての意見を出してもらうことができた。
- ・ しらとり主催により、近隣在住の中学生および高校生を対象に「しらとり学習サポートサロン」(SKY) を原則毎週月曜日の 17 時 30 分から 20 時 30 分まで泉苑 4 階を会場に全 43 回を実施し、延べ 147 人 (実人員 7 人) が参加した。うち 2 名の児童が志望した高校への進学を達成した。また、サロン参加児童を対象とする食事会には 4 名の保護者や兄弟、3 名の児童が参加した。
- ・ 府中市の公的事業として、(株) トライグループ「F`s home」主催で生活困窮者子どもの学習支援事業の協力で泉苑 4 階ホールを会場提供した。毎週水曜日 (18 時～21 時) 45 回の実施があった。
- ・ 高齢、子育て支援センターが合同で行っている家族相談連絡会は、足掛け 4 年目を迎えたが、今年もそれぞれのセンター職員の交換見学研修を行った。また昨年度から始めた家族支援情報交換会は「生活を支援する」のテーマで引き続き 7 月と 2 月に実施した。第 1 地区、第 5 地区民生委員さんと法人 5 センターのほか、府中市社会福祉協議会、府中市のそれぞれの主管課である高齢者支援課、子育て支援課はもとより生活援護課、障害者福祉課の職員、さらには市内にある障害者の相談センター 4 か所も参加して、家族支援の視点から多問題世帯の支援方法について事例を通じた学びの機会を設け連携の輪がさらに広がった。

2) 食事サービス

- ・ 独自事業として実施している食事サービスは、泉苑で夕食時の見守り配食サービス (泉湧夕ごはん 6,038 食) ・通所介護利用者への夕食持ち帰りサービス (1,264 食)。あさひ

苑では昼食時の見守り配食サービス 4,343 食を提供し、前年に 1,052 食上回り、需要の多さを実感した。次年度は夕食持ち帰りサービスの開始も予定している。緑苑では毎日昼食会を開催し、(年間 4,474 食)昼食後の沙龙的な居場所としても定着している。岩本町ほほえみプラザでは、訪問食事 1,700 食、食事会 691 食、通所介護利用者の夕食持ち帰り 1,910 食とほぼ前年同等の提供数であり、地域の高齢者の在宅生活を支援した。

3) 高齢者住宅

- ・ 府中市高齢者住宅うらら多磨は、単身用 13 戸、年度末で満室(要支援 1 が 3 名・要支援 2 が 1 名・要介護 1 が 2 名・要介護 2 が 5 名・要介護 3 が 1 名・要介護 5 が 1 名。※要介護 3、5 の 2 名は入院中)、年度内 2 人退去、3 人入居。開設から丸 7 年が経過して、前年度に引き続き当初から入居している方の重度化と、生活面での課題を抱えた高齢者の新入居が今年度も続き、住宅内での支援内容がさらに濃密になってきている。突発的な介護や通院、緊急対応等も多いが、併設の訪問介護およびあさひ苑の居宅介護・地域包括支援センターが連携することで安心できる環境を確保している。今年度の特筆として、在宅で生活困難となった糖尿病の高齢者が入院後の行き場所がなく、要介護 3 で入居したが、食を含めた生活状況が劇的に改善し、1 年あまりで要支援 2 となって持ち家に戻ることができたことがある。